

## 【概要報告】2022年度 総会

- 日 時：2023年6月24日(土) 午後2時30分から午後4時まで
- 会 場：サイプレスホテル名古屋駅前
- 出席者：40名(理事及び代議員)
  - ・ 出席者
    - 理 事： 大塚耕平、廣田修二、横井俊広、小縣徹男、近藤安彦、河村禎之、岡田三千雄、大下孝、新家晶仁、若松文彦、大家浩靖、神谷幸次、渡邊裕吉、後藤春幸、戸川太輔、家子利幸、高垣政和、石川裕貴、大津聡、中西正弘、縄田亮太、石原照三、杉浦明、脇坂康彦、柴田美登利 以上25名
    - 代議員： 種子田(実業団)、黒田(実業団)、柴田(クラブ)、生駒(クラブ)、植村(クラブ)、杉山(高校)、及川(中学)、稲吉(中学)、島(中学)、田中(ヤング)、菅沼(ソフト)、井上(ママさん)、今井(ママさん)、戸苺(ママさん)、阪本(ママさん) 以上15名
  - ・ 欠席者
    - 理 事： 守屋一郎、後藤圭三、桑村明美、西川浩然、鹿島孝之
- 委任状：7名
- 陪席者：監事【奥村、鬼頭】  
事務局長【利根、岩本、藤森、渡邊和、竹島、岡本】

司 会：大下事務局長

## 1 開 会【大下事務局長】

定款第4章第23条に基づき、委任状表決者7名と出席者40名の合計47名で、総代議員等数の過半数を満たしており、会議を開催し議事を議決することが可能であることを報告する。

## 2 会長挨拶【大塚会長】

開会にあたり理事、代議員、監事、事務局の皆様へ感謝申し上げます。一般社団法人となった弊会のVNL名古屋大会など多くの大会運営への御協力に心から感謝申し上げます。アジア競技大会を控えた弊会の運営方針及び財務状況の御審議をお願いし、更なる発展につなげていきたい。

## 3 議長選出【大下事務局長】

定款第4章第22条に則り会長を議長に選出する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

## 4 議事録署名人の指名【大塚会長】

定款に則り出席代議員から議事録署名人に実業団専門部代議員の黒田伸浩氏と中学校専門部代議員の稲吉晃一氏を指名する。

議 長：大塚耕平

議事録：事務局【竹島優太、岡本真由子】

## 5 審議事項

## (1) 第1号議案

## ア 中期経営計画中間評価【小縣専務理事】

中学校部活の地域移行に伴い、評価項目1のU15カテゴリーのさらなる整備拡充が、今後の課題である。項目2のガバナンスコンプライアンスについては、引き続き強化していきたい。項目3は、今後もビーチバレーの普及を進めていきたい。項目4は、財政の安定化に向けて、財務体質の改善や諸参加費のバランスを検討していきたい。項目5の法人化後の組織の充実に向けて、事務局体制の整備を進めていきたい。項目6については、持続可能な組織づくりを整えていきたい。

イ 2022 年度運営基本方針報告【小縣専務理事】

中期経営計画に基づき特に財政の安定化のため新たな収入を検討したが、確保までには至らなかった。魅力ある団体は、AVA 主催イベントを開催した。引き続き新たな事業等を考える。

ウ 2022 年度事業報告

(ア) 事務局：バレーボールに関わるバックオフィス業務に取り組んだ。

(イ) 事業部：新規事業として Volleyball Week in AICHI を 9 月 23 日から 9 月 25 日の 3 日間、エントリオで開催し、最終日は名古屋モード学園学生と選手によるファッションショーを実施し盛況なイベントとなった

(ウ) 各支部：一部大会で新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったが、概ね予定どおりに大会が開催され、又、各委員会及び各専門部などと協力、連携しながらバレーボールに対する意識の向上、低年齢層の拡大、各カテゴリーの大会運営管理強化、運営方法の見直しを試行錯誤しながら取り組んだ。

(エ) 各委員会：各委員会の重点目標に取り組んだ。指導普及委員会の新規事業として、指導者講習会を 8 月 2 日にエントリオで開催した。また、U-14 クラブチャンピオンシップ大会は 1088 名の選手が参加し、指導普及委員会の主管事業として 2 月に開催した。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(2) 第 2 号議案

ア 2022 年度正味財産増減計算書(決算書)【大下事務局長】

資料から以下のとおり説明する。

(ア) 一般会計収入は 3,059 万 8,027 円、特別会計収入は 3,503 万 5,881 円、合計で 6,563 万 3,908 円である。

(イ) 一般会計支出の大会運営費決算が 1,504 万 1,913 円で大会参加費収入に対して 299 万 193 円の損益である。32 年ぶりに参加費改定をおこなったが損益が発生している。

(ウ) 一般会計及び特別会計をあわせた損益が 114 万円 597 円である。

(エ) 法人化後 2 年間は消費税が免除されている。

イ 2021 年度貸借対照表【小縣専務理事】

資料のとおり説明する。

ウ 2021 年度財産目録【小縣専務理事】

資料のとおり説明する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(3) 第 3 号議案

2022 年度会計監査報告【奥村監事】

5 月 2 日に弊会事務所にて監事 2 名で監査を実施した。関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査した結果、その内容は適正かつ正確であったことを報告する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(4) 第 4 号議案

ア 2023・2024 年任期役員【大下事務局長】

理事及び監事は、本定時総会終結と同時に任期満了、退任となり改選が必要である。2022 年 12 月及び 2023 年 1 月に弊会役員選出委員会を開催し、2023 年・2024 年任期役員案を審議した。2023 年 5 月の第 1 回理事会で役員選出委員会役員案を審議し承認されたものを資料のとおり提案する。

イ 2023・2024 年専従役員【大下事務局長】

2023・2024 年専従役員も役員選出委員会及び 2023 年度第 1 回理事会にて審議し承認された。小縣徹男氏を専従役員とすることを提案する。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(5) 第 5 号議案

ア 2023 年度運営基本方針【小縣専務理事】

中期計画に基づき、3 年目の重要期間と認識している。

(ア) U14 カテゴリー層競技者への普及活動

「公立中学校の部活動地域移行」に積極的に取り組む。7 月の中学校総体にヤングクラブ連盟所属チームが参加する。中学生新人大会も同様の参加を認めていくべきと考える。

(イ) ガバナンス、コンプライアンスの強化

ガバナンスとコンプライアンスの検証を行う。

(ウ) 財政の安定化

安定化のため、参加費改定が必要である。2023 年度内に改定額を決定する。

(エ) 経営体制の強化

法人経営を重要視し、新事業展開、経営体制の強化準備、事務局体制の充実が求められる。弊会は、多くのアマチュアに支えられている。プロフェッショナルとアマチュアの業務仕分けを考慮し支えてくれる人たちの支援をする。

イ 2022 年度事業計画

(ア) 事務局

事務局業務の分担及び DX 化を推進しバレーボールに関わるバックオフィス業務に取り組む。

(イ) 事業部

4 月に 2022-23V. LEAGUE DIVISION1 男女ファイナル 4 を開催、5 月末から 6 月にネーションズリーグ 2023 男女を開催、今後はマイナビジャパンビーチバレーボールツアー、9 月に愛知バレーボール FES、11 月に全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県代表決定戦を開催、10 月から 2024 年 3 月まで 2023-24 V. LEAGUE 愛知大会を開催する。以上の弊会収益となるイベント開催と円滑な運営を各委員会や各支部と連携、協力し取り組む。

(ウ) 各支部

各委員会及び各専門部と協力及び連携しながらバレーボールに対する意識の向上、低年齢層の拡大、各カテゴリーの大会運営管理強化、運営方法の見直しに取り組む。また、バレーボール競技人口の拡大や愛好者創出の支部独自大会開催や中学校部活動地域移行と関わりを模索する。

(エ) 各委員会

各重点目標を達成すべく、大会運営、強化事業、指導普及、情報発信に取り組む。また、強化事業におけるジュニアクラブチームとの連携強化、U-14 競技者を拡大に注力したいと考える。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

(6) 第 6 号議案

2023 年度正味財産増減計算書(予算書)【大下事務局長】

資料から以下のとおり説明する。

ア 一般会計収入は、団体会費と個人会費に分けられ補助金雑収入を含めて 3,093 万 2,000 円である。特別会計収入は、運営委託金収入とイベント収入で、3,810 万円である。合計収入は、6,903 万 2,000 円となる。

イ 一般会計支出は、大会運営費で損益計上がある。支出小計は 3,761 万 3,000 円である。特別会計支出は、イベント運営費で損益計上がある。

ウ 支出合計は 7,283 万 5,000 円で収入合計との差額 380 万 3,000 円の損益は、弊会資産から補填する。

エ ポイントは、特別会計収支状況に変動があることから一般会計の収支バランス及び大会参加費と大会運営費の収支バランスが重要であることの2点である。

【これについて諮り満場一致により可決承認】

6 その他【大下事務局長】

代議員の方から質問、要望、意見を伺いたい。

【代議員から質問、要望、意見はなし】

7 挨拶【大塚会長】

バレーボール人気の変遷を振り返り、日本バレーボール界が直面する課題と共通点を感じた。他スポーツが新企画及び運営で成功するなか、バレーボールは90年代以降の構図を維持し、競技人口の減少の課題に直面している。弊会の発展は、日本のバレーボールにとって重要な要素である。皆様の多くの知恵と御協力が不可欠と考えている。

8 閉会【大下事務局長】

以上で2022年度一般社団法人愛知県バレーボール協会総会を終了する。